

■ 校正マーク

JCSS	このマークのある製品はJCSS校正対応品です。
校正対応	このマークのある製品はトレーサビリティ校正対応品です。

■ 無線機器について

- ・弊社製品は日本国内専用です。海外でのご使用はできません。
- ・電波の通信状況は環境によって変動します。
電波状況を確認したときに状態が良好でも通信を保証するものではありません。周囲の環境等の変化により通信が失敗することがあります。

■ 保護等級（防水性能）について

- ・水に対する保護等級 要約と定義（JIS C 0920 抜粋）

1	鉛直に落下する水滴に対して保護する。	鉛直に落下する水滴によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
...	...	...
4	水の飛まつに対して保護する。	あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を及ぼしてはならない。
5	噴流に対して保護する。	あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
6	暴噴流に対して保護する。	あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
7	水に浸しても影響がないように保護する。	規定の圧力及び時間で外殻を一時的に水中に沈めたとき、有害な影響を生じる量の水の浸入があつてはならない。

■ 商標について

- ・Apple、Appleロゴ、iPad、iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
 - ・Android、Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle LLC.の商標または登録商標です。
 - ・BluetoothはBluetooth SIGの登録商標です。
 - ・Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

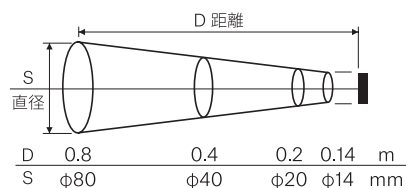
■ 放射温度計の機種選定について

- ・放射温度計をご使用になる際は、以下のことにご留意のうえ機種をご選定ください

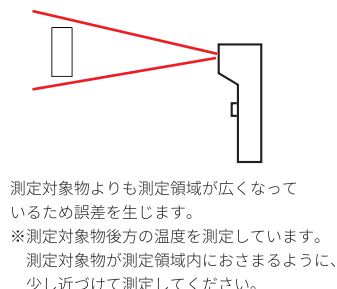
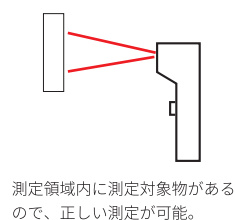
1. 温度範囲 測定対象物の温度に合わせた測定範囲のものを選んでください。
弊社では-60～1550℃まで幅広く対応しています。
2. 距離係数 測定対象物との距離はどれくらいですか？
放射温度計は、機種ごとに距離係数が決まっています。距離係数とは、測定距離（D）と測定領域直径（S）の比率です。
この2つは正比例の関係のため、測定対象物までの距離が離れれば測定領域直径が大きくなることになります。
また、表示される温度は測定領域内の「平均温度」です。測定対象物が測定領域内におさまっているかを必ずご確認ください。

●例 D：S = 10：1の場合

測定領域は、測定距離によって下図のように変化します。



●表示温度は「平均温度」



3. 放射率 測定対象物ごとに放射率の設定が必要です。
すべての物体は赤外線を放射しており、その赤外線の量は物体の材質や表面状態などによって異なります。
放射温度計で温度を測る際は、測定対象物に合わせた放射率に設定することが必要です。
放射温度計には、放射率が固定のものと、放射率が変えられるものとがありますので、測定対象物に合わせてご選定ください。



放射率表はこちら

■ 土壌pHのはかり方

- ・弊社のガラス電極式pH計を用いて土壌のpH値を知りたい場合は、以下のようにして測定が可能です

1. 測定対象の自然乾燥させた土を10～30g程度用意します。
2. ビーカーなどに土を入れ、土の量の3倍程度の純水を入れてよく攪拌します。
※最低5分は攪拌してください。
※純水が用意できない場合は水道水でも結構ですが、測定結果の誤差が大きくなります。
3. 1～2分放置しますと、土が容器の底に沈殿を始めます。
土と上澄み液が十分分離するまで待ちます。（最低5分）
4. センサ（ガラス電極部）を静かに上澄み液の中に入れて、指示が安定後測定値を読み取ります。

注意：センサ部（ガラス電極部）を絶対に土の中に入れないでください。
測定後はセンサ部を流水でよく洗ってください。

